



武周ヶ池竜神祭

山伏に導かれ、雨乞いと豊作祈願
8月23日、牧谷の野見岳にある武周ヶ池で、武周ヶ池保存会らによる雨乞いと豊作祈願の伝統行事「竜神祭」が行われ、88人が参加しました。武周ヶ池は江戸時代から雨乞いの池として有名で、日照りが続くと山伏の先導で山を登り雨乞いをしたとされています。入山式では、詩吟「武周ヶ池に立つ」が披露された後、龍神太鼓の演奏に見送られ池を目指し、約40分で到着。池のほとりで保存会による折禱が行われ、御神酒や米など供え物を池に流し、今年一年の豊作を祈りました。



ヤシャゲンゴロウから学ぶ環境問題 子どもたちの学びの場に参上!

8月24日、今庄小学校で環境教育の一環として、絶滅危惧種ヤシャゲンゴロウを教材とした出前教室が行われました。福井大学教育地域科学部の保科准教授から池の水の汚れや地球温暖化などの影響で、1995年には2,000匹生息していたヤシャゲンゴロウが、2007年には500匹未満にまで減少してしまった話や、生息しやすい環境や生態について説明を受けました。その後、宇津尾区にある「ヤシャゲンゴロウを育てる会」の飼育場を見学。幼虫と成虫を観察しながら、奥野宏会長から成長過程についての話を聞きました。児童らは「夜叉ヶ池に、ヤシャゲンゴロウが住みやすいように気をつけたい」と話していました。



親子ふるさとエンジョイウォーク 歩いて、見て、聞いて ふるさと再発見

9月13日、河野小学校とPTA主催で「ふるさとのおよさ」を再発見しようと親子ふるさとエンジョイウォークが行われました。サイドパークを出発した児童と保護者150名は、午前10時ごろ約5キロ先にある国道8号線桜橋工事現場に到着。工事担当者から説明を受けた後、貫通した桜トンネルの中を自由に歩いたり、工事に使われる重機に試乗したりと様々な体験を通じて、今年12月に通行可能予定となっている新桜橋や桜トンネルなどを見学しました。長距離を歩いたため、疲れ顔になってしまった保護者もいましたが、子どもたちは元気いっぱい「親子で体を動かして楽しいひとときを過ごしました」。



街道浪漫今庄宿2009 隆盛極めた今庄宿「おむすび」を見せ

9月13日、北国街道の宿場町として栄えた今庄宿を再現する街道浪漫今庄宿2009が、JR今庄駅周辺で開かれ、大勢の家族連れらでにぎわいました。街道沿いには、おろしそばや地酒、茶めしなど約40の模擬店が出店。訪れた人たちは、昔ながらの町並みを見物しながら今庄自慢の特産品を買収求め、ふるさとの味を堪能していました。また、夜叉ヶ池の伝説をテーマにした恒例の蛇踊りが公德園前で披露され、今庄中学校の生徒が全長25メートルの大蛇を太鼓の演奏に合わせて勇壮に操り、まつりを盛り上げました。



山海里消防フェスティバル 消防士さんの仕事を体験

8月30日、楽しみながら防火・防災の意識を高めてもらうと、南消防署で山海里消防フェスティバルが開催され、330人が訪れました。さまざまな体験コーナーが設けられた会場で、人気を集めたのは、はしご車搭乗体験と事故車両からの救助・救出訓練。はしご車搭乗体験には、順番を待つ子どもたちで長蛇の列ができ、地上約30メートルからの眺めを楽しみました。また、救助・救出訓練では、実際に車両の窓を割り、切り開いて負傷者を救出する様子が披露され、救助隊の迅速で的確な作業に訪れた人たちは感心していました。



交通安全キャラバン隊来町 交通事故のない社会を実現しよう

9月1日、みんなですすめる交通安全、全国キャラバン隊が来町しました。キャラバン隊は、交通安全協会や交通安全母の会、交通指導員、保育所の園児らに迎えられ、内閣府からの「交通弱者に対する思いやりのある行動が大切。世界一安全な道路交通の実現に向け、交通安全対策を推進してほしい」とするメッセージを伝達。これを受け、川野町長は「安全速度 人にやさしく 地球にやさしく」と書いた色紙を手渡し「町民の生命を守るため、町が一丸となって交通安全活動に取組み、また、環境保全にも配慮していきたい」と決意を述べました。



永平寺に咲いた南越前町の花ハス 感謝の気持ちが込められた贈り物

今年4月、南条花はす公園から艶陽天と太白蓮の紅白2種類の花ハスが、永平寺に移植され、そのうち深紅の艶陽天が8月に開花しました。花ハスの移植は、昨年、庭園に花ハスを咲かせようと永平寺が独自に試みましたが、開花しなかつたため、南条花はす公園が分根の依頼を受けたことがきっかけとなりました。9月15日、永平寺の原田光則老師らがお礼にと、貫首福山諦法禪師が「白蓮放妙香」と記した書を贈るため、町長室を訪れました。原田老師は「花が咲いてほっとしている。毎年開花するよう大切に育てたい」と話しました。



河野地区敬老会 つつまも児童や若年者もついでにね

9月15日、河野総合事務所約170人が出席し、河野地区敬老会が開かれました。川野町長が「日本が豊かな国、長寿の国となったのは、皆さんが戦後の苦しい時代に頑張っていたのおかげ。今後もこれまでの経験を若い世代に伝え、お体に気をつけて長生きしてください」とあいさつ。金婚のご夫婦と米寿を迎えた方にお祝いが贈られた後、河野保育園児の歌と踊りが披露されると、参加者らは盛んに拍手を送り、子どもたちに手を振る姿も見られました。また、気の合う仲間と歓談し、会食を楽しみながら思い思いの時間を過ごしました。